

黒手組助六 (後篇)

帝キキ小阪映畫

原作者 近松門吉氏

脚色並監督者 豊川 一氏

撮影者 三木 俊氏

主演者 尾上 紋十郎氏

配役(前篇に同じ) (紹介第二百三十二號)  
略筋——乾分權次の急を聞いて助六は病中乍ら  
証付け漸く彼を救つたけれど意休の奸計で御金  
藏破り三浦屋の春風を殺したのも助六の所業さ  
して助六は罔圖の人となつた意休は奉行の息金  
之助を唆かし助六を毒殺せんとしたが却つて金  
之助は殺された、憤怒した助六は意休の隠れ家  
に單身乗込み縦横に活躍し意休事大賊高坂弾正  
を倒し自分は金之助を殺した罪に依り切腹した  
折柄証つけた揚巻も直ぐ様その後を追つた。彼  
等の生涯は短かつたけれど彼の働きにより江戸  
萬民には安らかな日が續いた。